



北萩寮

社会福祉法人方光会 施設長 小菅公夫さん

北萩寮（ほくしゅうりょう）

〒024-0082 岩手県北上市町分 2-62-1 ☎0197-63-7278

平成 16 年 5 月 1 日設立

事業内容：就労移行支援事業、就労継続支援 B 型事業

就労系活動内容：自主事業（納豆、お菓子、南部せんべい製造）、
受託事業（ダンボール加工、食品包装等）、施設外就労



飛び込み営業や時には現場仕事にも入る小菅施設長。



南部せんべい製造担当の赤沢さん。真夏の室温は 40 度を超えます。

いい仕事をつくり、少しでも利用者の工賃を上げてあげたい

「市内の工業団地をまわっては飛び込み営業。しかし最初はわけのわからない輩が来たと門前払いでしたよ。」こう語る〈北萩寮〉の施設長、小菅さん

昭和 57 年に当法人に入社した小菅さんは入所施設で現場一筋でした。（“入所施設”=365 日 24h 入所者をケアする施設）平成 16 年に法人の方針で新たに「通所授産施設」を開設し任されることとなります。授産施設は就労を支援するところなので、利用者の工賃を増やすための仕事を取ってくる必要がありました。営業未経験者が 40 歳を超えていきなり飛び込み営業をするわけですからめげることもあったかと思えます。ただ、その努力の甲斐もあって今では月額 2 万 5 千円（全国月平均約 1 万 5 千円）もの工賃を利用者に支払うことができています。

〈北萩寮〉の作業内容は自主生産物作業、受注作業、施設外就労です。今回〈北上お試し BOX まごころ版〉に出品している〈割りせん〉や〈きたかみ納豆〉は自主生産物の柱で「地産（北上産、岩手県産）」にこだわっています。特に〈きたかみ納豆〉については味の良さで多くのリピーターがついている商品です。

受注作業はダンボール加工や食品包装関係、車両メーカー関係など企業からの受注作業。軽作業で安い工賃の仕

事ですが、複雑な仕事が出来ない重度障害を持った利用者のために受注しています。

自主生産物作業担当の職業指導員、関山さんに障がい者支援施設に入社した理由を聞いてみました。

「私のいた煎餅工場にも障がい者が雇用されていました。最初は少し怖かったのですが、話してみるととても明るく、すぐに仲良くなりました。それがきっかけで障がい者支援の仕事に興味を持ったのです。」

この施設に研修に来る専門学校生も、障がい者は「怖い」とか施設は「暗い」というネガティブイメージを持っています。しかし、接してみるとみんな明るく研修が楽しかったという子が多いそうです。

そんな関山さんの名刺の裏には〈いわてスマイリーズ・コーチ〉という文字が書かれています。岩手代表の知的障がい者ソフトボールチームでコーチをしているのですが、「このスポーツをもっとメジャーにしたいです。」という目標を持っていました。

小菅さんにしても関山さんにしても、声をそろえて言うのが「いい仕事をつくり、少しでも利用者の工賃を上げてあげたい。」ということ。ぜひ、きたかみ納豆を食べて応援してあげてください。